K
K

Wedding Story
for
KOKI & KANAE

la nature
Wedding

@2019 La nature

この度は、数多いプランナーから
私を見つけていただき、本当にありがとうございます。

幸輝さんと奏江さんのお互いを想う気持ち。
幸輝さんが奏江さんのご家族にまで馳せる想い。
奏江さんが誰もをあたたかく包む心。

私が感じたおふたりの全てを大切にして
ふたりの人生でたった一日の日をご提案させていただきます。

La nature
Wedding Planner / Flower Designer
KURUMI

@2019 La nature

TIME TRAVELERS

時間を旅するものたち

その運命の日、それはまるで時間旅行のように。
ふたりがそれぞれ幾年も歩んできた“過去”
ふたりが出会い手をつないでいる“現在”
ふたりが家族となり紡いでいく“未来”
全てがひとつの線で繋がっている。

輝いている“現在”があるのは、様々な“過去”があったから。
喜び、楽しさ、努力、苦労、切なさ、全てのことが今のふたりをつくっている。
そして、これからはふたりが輝く“未来”を意思を持ってつくっていく。
過去、未来、それらに誰もがタイムトリップしたかのように
その時の記憶や想像に触れ、懐かしんだり、尊んだり、愛しくなったりする。
新郎新婦、ご両親、ゲスト、その日は誰もが**“タイムトラベラー”**となって。
そして“現在”が史上最高の幸せの時であると体感できるように。

@2019 La nature

結婚式の準備をするときにも
ふたりに時間の旅がありますように。

旅行の準備をするときって、とても楽しい時間。

旅先で何をしよう。何を食べよう。何を着ていこう。

まだ見ぬ未来を描くワクワクやドキドキがあります。

そんな風に、結婚式の準備をするときにも、楽しんでいただきたいと願います。

結婚式の日を想い描くだけでなく、

ここに至るまでの道のりを思い返していただくこともぜひしてみてください。

お呼びする方、ひとりひとりとの想い出、自分が苦しかった時、

それを乗り越えた時、お互いを見つけられた時のときめき。

そんなことを打ち明け合い、またお互いに新しい発見をしたり、理解し合える。

結婚式は、今までを思い返せるチャンスであり、

ふたりがまた深く夫婦となる素敵な機会です。

そんな時間も、ぜひ楽しみながら、旅の日を迎えていただけると幸いです。

@2019 La nature

The Big Day

運命の日は、2020年3月21日。
その頃、きっと桜もふたりのハレの日を祝福してくれてるはず。
春の風を感じながら、旅に出るため、
ふたりは旅立ちの場所へ向かいます。
桜を眺めながら、“いよいよ”と。

Special Ship

旅に行くための船。それが会場「ラナチュール」。
妹さんがこの会場に勤めていたご縁を大切にした結果、選ばれた場所。
ふたりとゲストが、時間旅行に出るために特別な準備がなされます。

@2019 La nature

Preparation

ふたりはそれぞれお支度へ。
数時間後、お互い晴れ姿になってふたたび巡り合います。
「またね」にたくさんの想いをこめて。

Entrance

その頃、ご家族やゲストも同じ船に乗りはじめます。
ふたりとの想い出と言う荷物を持って。
時間旅行の目印はふたりのオリジナルフラッグ。
「どんな時間に連れて行ってくれるのだろう」そんなワクワクを抱かせて。

@2019 La nature

Welcome Space

ゲストが船に乗ると、ウェイティングスペースへ。
そこには、さらに旅に期待感を抱かせる空間が。
ふたつのトランクケース。ひとつは幸輝さん、ひとつは奏江さん。
それぞれの想い出のアイテムやふたりらしいものを詰め込んで。
ふたりが感じられるトランクケースは、心和むものに。

トランクケースや地球儀、昔のマップに花を添えれば、コンセプトも感じながらウェディングらしい華やかさを。

そして天井への上映で、ゲストにもサプライズを。
オープニングDVDのような感覚で、
この日をゲストにどう過ごしてもらいたいか伝えみて。
親御様が結婚した時の写真などを入れて、
ふたりのルーツを表現するのもおもしろい。

@2019 La nature

First Meet

さいかい

First Meet

ゲストが集まっている頃、ふたりは、、、
幸輝さんはドレス姿は見ているかもしれません。
ですが、この日のために、より美しくなった奏江さんは
また奥ゆかしく輝きます。
お互いにしっかりと準備を整えてから
お会いする直前、きっと出逢った頃のように
ドキドキしながら新しい気持ちになって、
再会できるはずです。

Time Travel

そして、ご両親がふたりにお会いする前にもタイムトリップを。
いよいよ大好きな幸輝さん、大切に育てた奏江さんの結婚式。
親御様は大切な日に、きっと緊張しているはず。
だから、ふたりの子育てしてきた何十年の歩みを、
ゆっくり思い返せる時間をプレゼントしましょう。
ふたりが知らない悩みもあったはず。
気持ちが伝わらないこと、成長を感じて嬉しかったこと、そんなことを
思い返させるような写真たちをチャペルの前の壁一面に貼り巡らせて。
おふたりとファミリーミートするのは、その写真の前です。
ご両親は、様々な感情が沸き上がり、感極まるでしょう。

@2019 La nature

Feeling Love

ご両親が子育ての時にタイムトリップした後では、
挙式での、奏江さんの旅立ちがより深く感じられるでしょう。

様々な想いを胸に秘めながら、お母様は花嫁のベールを
ゆっくりとおろし、そして、美しく整えてくれます。
目を見つめるだけでも想いは伝わります。
「ありがとう」の気持ちでいっぱいになるでしょう。

そして、奏江さんはお父様と歩まれます。
一歩一歩がこんなにも尊い日。
お父様の温もりを改めて感じながら、バージンロードを
ゆっくりと進みます。

この時間、奏江さんは最高の親孝行をします。

@2019 La nature

Promise for Father

一歩一歩進み、幸輝さんの元へ。
お父様から幸輝さんへ、奏江さんの手が渡されるとき。
男同士の未来への約束が交わされます。
「絶対に幸せにします」と。

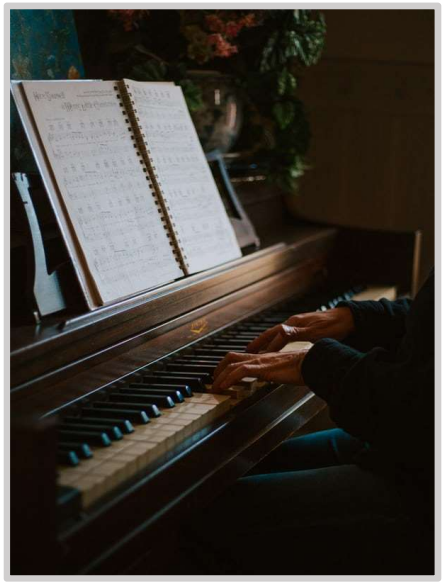
Forever Promise

そして、幸輝さんと奏江さんは手を取り
ふたりは一生を誓います。
牧師からの問い、指輪の交換の中で、
今まで支えてくれたこと、
そこにいてくれるだけで心安らぐこと
全てを改めて感じながら、
セレモニーが執り行われます。

@2019 La nature

Cheers!

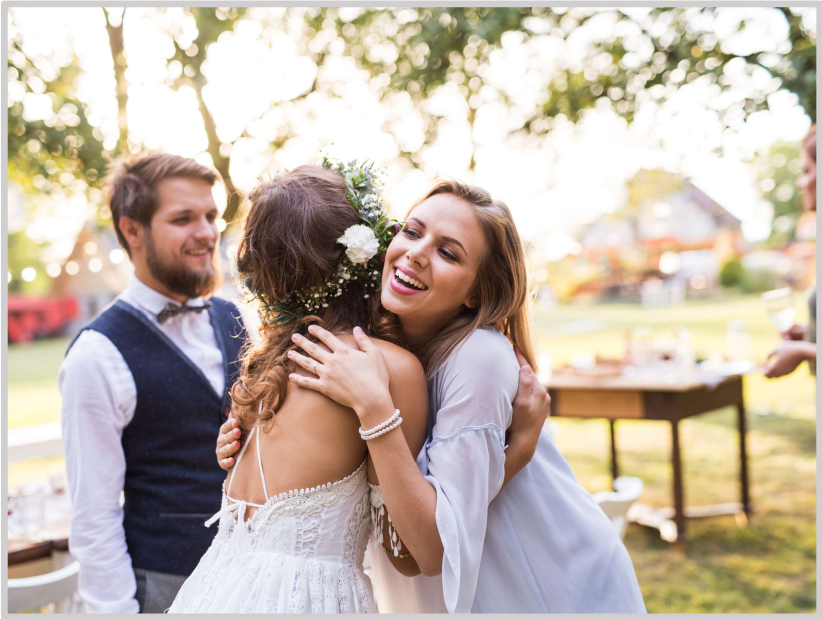
挙式が済んだら、ちょっと緊張がほぐれて、次は思いっきり祝福を浴びる時間。
大階段から登場する新しい夫婦に、全員がおめでとうと笑いかけます。
そして、乾杯と同時に流れ始めるのは、楽器の生演奏。
プロ奏者でも良いけど、ゆかりのある方に演奏いただいて
より特別な乾杯を演出。祝宴が始まります！



@2019 La nature

Blessing!

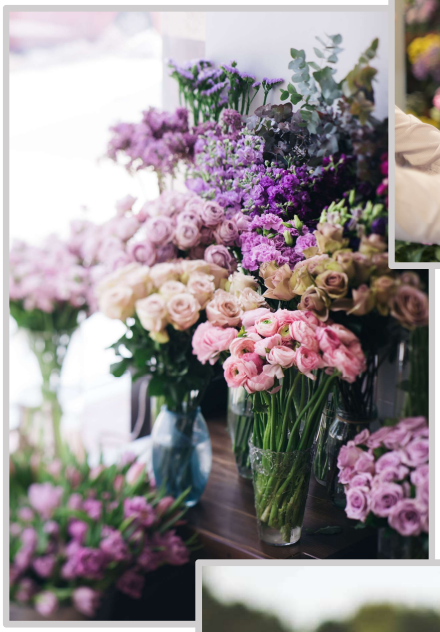
おふたりは、お友達にお祝いしてもらって、
思いっきり最高の笑顔を親御様に見せてあげてください。
ご披露宴は、ご自身のゲストにお互いをご紹介して
“これからよろしくお願いします” とご挨拶をする場。
ひとりひとりとしっかりと言葉を交わします。



New Sister

奏江さんが中座されるとき、エスコートをお願いするのは幸輝さんの妹さん。
新しい姉妹が始まるセレモニー。
「これからは友達として、そして家族としても、またよろしくね。」
そんな想いをこめて。
結婚式のお仕事に携わっている方は、いざ自分が参列する
立場になって新郎新婦様に選ばれた時の喜びはひとしおなのです。
妹さんにとっても、心に残る一日になります。

@2019 La nature



Flower Time

雰囲気を変えられて、いよいよおふたりはガーデンからお色直し入場。
でも奏江さんの手にはブーケがありません。なぜなら花はゲストの手元にあるから。
そう、ブーケはこれからつくられるのです。

ふたりが中座中、始めは会場内に装飾として置かれていた
種類も色も、とりどりのお花から、ゲスト自身がおふたりに
似合うと思うお花を選び手に取っていたのです。

おふたりはテーブルラウンドをしながら、ゲストからお花をいただきます。
ひとつ目のテーブルはミニブーケ、よっつ目のテーブルはミディアムブーケ、
ななつ目のテーブルは少し大きくなってきたブーケ、ラストのテーブルでは、
全員がふたりらしいと思った花でつくられた、世界にひとつのブーケが完成します。
そして仕上げに、幸輝さんの胸にはお母様からお花を入れていただきます。
ざっくばらんなカタチのブーケでも、ゲストと一緒につくったブーケが
ふたりをより一層輝かせるでしょう。

@2019 La nature

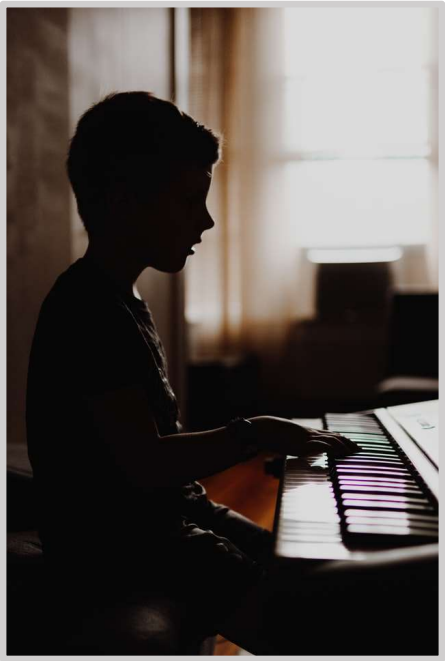
Time Travel

ふたりの未来のためにタイムカプセルならぬ“タイムボックス”を。
「〇〇年後のふたりへ」なんて、一般的なことではなく、
「ふたりが悩んだ時に時にかけたい言葉」など
ふたりが、具体的にみんなの言葉が欲しくなるであろうシーンを決め
ゲストからメッセージをいただきます。

書いてもらったメッセージを一冊の“ブック”にして、
未来に残したいアイテムなども用意します。
それを一緒にボックスの中に入れて、そしてカギをかける。
そんなセレモニーを加えれば、ゲストもふたりの未来に参加できる
演出となります。

Music Lovers

パーティーも佳境。誰もが楽しく過ごしているなか。
お父様は嬉しい緊張感を感じています。
それは、久しぶりにウッドベースを弾くから。
この日のために、ふたりで練習に励むなんて、何十年ぶりでしょう。
お父様も久しぶりに弾くチャンスをくれるのが息子であることは、
きっと嬉しいはず。過去のリベンジにもなるのですから。
ふたりが一緒に音楽を奏でること。
そしてそれが披露宴と言う特別なタイミングであることは、
お父さまにも、幸輝さんの人生にも鮮明に生き続ける時間となります。
そのふたりの姿はお母様にも、奏江さんの心にも、
それから第二の母とも言えるピアノの先生の心にも強く残るはずです。



@2019 La nature

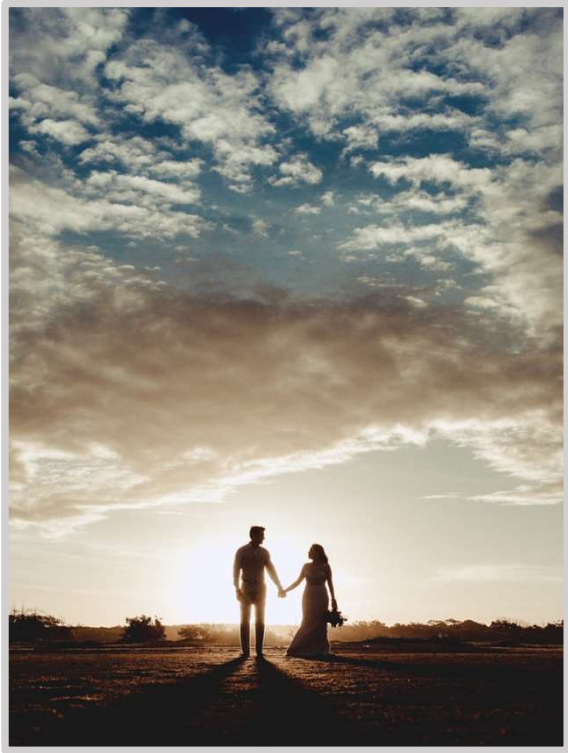
Only One Voice

心ではいつも思っていたけど、口に出来なかったこと。
それを伝えられるのは、披露宴の時だからこそ。
その日、ふたりが親御様を連れていった時間旅行。
ふたりが親御様を思いやる気持ちは絶対に胸を打つでしょう。
ラストに奏江さんの素直な気持ちを、自分の声で伝えれば、
親御様にとっても最高の一日になります。

Only One Voice

ラストを飾るのはもちろん、幸輝さん。
ふたりの新しい旅立ちを見守ってくれた皆さまへ、幸輝さんらしくご挨拶を。
事前に用意したスピーチももちろん良いですが、
その日感じたことを素直に率直に言葉にしてみてください。
幸輝さんの熱い思い、お人柄に、ゲストはきっと心から感動してくださいます。

そして、エンドロールには、ゲストのお名前だけでなくしっかりとメッセージを入れて。
想いのこもった言葉は何度言ったって良いモノです。
ふたりのあたたかさが感じられる時間旅行、ゲストの皆様にも、そしてご両親にも
必ず心に残る一日をふたりから贈れるでしょう。



@2019 La nature

Forever Bouquet

みんなでつくったブーケは一生の宝物に。
ゲストが選んだお花のブーケは、押し花にして
永久にふたりのそばに寄り添い続けます。
ふたりが年を重ねていくのと同じように、お花もアンティーク感を増していく。
お子さんが大きくなったとき、「この花はなぁに？」と聞かれるでしょう。
そうしたら、「みんながパパとママのためにつくってくれたブーケだよ」
未来から今を思い返せる時間が出来るでしょう。

Time Travel

タイムボックスを開ける時。
それは、ふたりが決めたタイミングです。
今、みんなだったら何て声をかけてくれるだろう。
そんなときに、ふと、あのボックスの存在を思い出します。
数年後、数十年後に開けた時、結婚式の記憶が蘇ります。
みんなの想いが詰まったブックを1枚1枚めくり、
100人100色の言葉がきっと、ふたりを支えるでしょう。
それは、子どもたちまで語り継がれるかもしれません。
タイムトラベラーとなったふたりの結婚式は、必ずその後も
ふたりと新しい家族の人生に生き続けるはずです。

@2019 La nature

ふたりの人生の歩みに尊敬を、
ふたりの想いが後世にまで、紡がれるように。

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。

幸輝さんのお話を伺い、ひとつひとつに熱く、

そして全力でご自身の人生を歩まれていたことに、尊敬の念がありました。

そして、幸輝さんが苦しい時でも、

そばで寄り添う深い愛情をお持ちの奏江さん。

ふたりは出会うべくして出会ったのだと、感じました。

ご自身の家族だけでなく、

世の中のお子さまに対する真摯な幸輝さんの想いに感銘を受け、

時間軸をテーマにしたウェディングが想い浮かんだのです。

ふたりの人生には、過去を思い返したり、未来を想像する価値がある。

結婚式と言う日にその価値を見つけ、おふたりとおふたりの家族の中で

一生輝き続ける日となりますように。

KURUMI

@2019 La nature

TIME TRAVELERS

Story Continues...

@2019 La nature